

# NMN

(β-ニコチンアミドモノヌクレオチド)

## NMNとは？

NMN (β-ニコチンアミドモノヌクレオチド) は、加齢に伴い減少する生体内物質 (NAD<sup>+</sup>) へ体内変換されることで、「長寿遺伝子」「抗老化遺伝子」などと呼ばれる『サーチュイン遺伝子』を活性化させることが知られております。



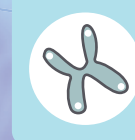
変換



活性化



Mitochondria  
ミトコンドリア  
エネルギー生成



Telomere  
テロメア  
細胞の老化を防ぐ

推奨量: 8mg~/日 (体重1kgあたり) ※ヒト等価用量 (HED) 換算による

## こんな方におすすめ

加齢による  
衰えが気になる

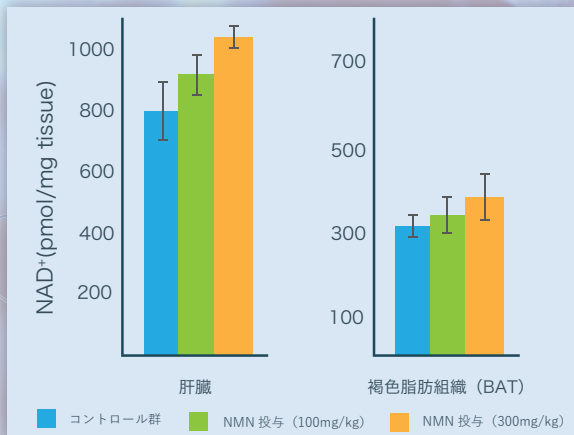
体型が気になる

若々しさを保ちたい

思考力・集中力の低下

## NAD<sup>+</sup>増加によるサーチュイン 遺伝子の活性化

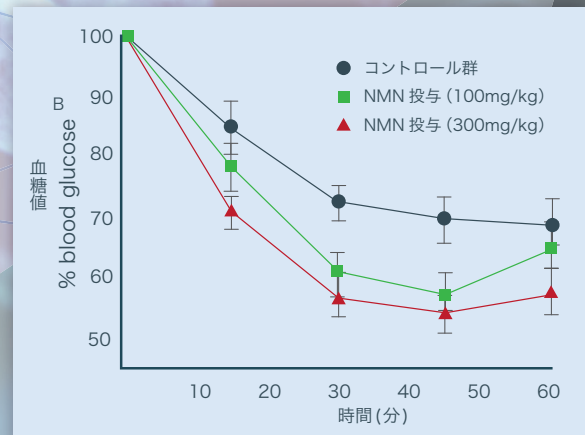
マウスを3つのグループに分けNMNを投与し、12ヶ月後の体内NAD<sup>+</sup>を測定したところ、コントロール群と比較し、NAD<sup>+</sup>量の増加が確認されております。よって、『サーチュイン遺伝子』の活性による「若返り」や「体重減少」の効果が期待できます。



NMN 摂取による器官内 NAD<sup>+</sup>増加量

## 血糖値の改善

マウスを3つのグループに分けNMNを投与し、12ヶ月後の血糖値を測定したところ、コントロール群と比較し、血糖値が低下したことが明らかになっております。



NMN 摂取による血糖値減少